

安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが ⑨

2020年5月11日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 ☎03-3221-4668

特 報！

○黒川東京高検検事長の違法な定年延長抗議・辞職を求める抗議・要請オンライン（ネット）署名が31万人（5月11日午前11時現在）、検察庁法改定（含む国家公務員法改定）に反対するツイッターへの著名人を含めた投稿は470万件超（「朝日」「東京」5月11日付）になるなど大炎上しています。

○コロナ禍に対し、与野党が総力をあげて立ち向かうべき時、与野党の合意がないまま自民・公明・維新は5月8日、衆議院内閣委員会の審議入りを強行、今週中にも衆院通過をねらっています。検察人事に内閣が露骨に介入する法案の扱いからその本質をさらけ出しました。

○ネット署名は9～10日にかけて、それまでのテンポにない伸張で31万人となったのも、ツイッターの炎上も市民の怒りを示したものです。「ツイッターデモ」、「ネット署名デモ」と呼ばれ、それへの参加がトレンドになっています。

○ネット署名には多彩なコメントが記入されています。

例えば、「安倍政権のこれ以上の暴挙は許せるか！」「安倍政権の姑息な手段は許せない」「いい加減日本はかわろうよ」「三権分立崩壊＝独裁政治、断固としてストップ！」「安倍政権は火事場泥棒、あり得ない！」「どさくさまぎれに泥棒が手下を警官にしてどうするのか」「不要不急どころか有害極まりない権力の私物化の実現、とんでもない」「森友裁判、亡くなった遺族の方の再調査要請、弁護士グループによる告発、河井議員夫妻の公職選挙法違反などと同じように政権をゆり動かす時だ」「変な30万円支給を覆し一律10万円の支給、陸上イージスの秋田市配備の断念…、声をあげて頑張れば政治は変えられる？」「憲法改正問題では意見があるがこの問題は一も二もなく『反対』は当たり前でしょう」など、安倍政権への怒りと法案反対に満ちています。

○黒川検事長定年延長抗議・辞職を求めるオンライン（ネット）による賛同署名、書面による賛同署名、首相官邸あての「はがき」行動、「検察庁法『改正』含む国家公務員法等『改正』案は慎重審議・廃案に！」の松本衆院内閣委員長への「FAX要請」などの取り組みを急ぎ広げ、世論と運動で廃案にさせましょう。

※オンライン（ネット）署名は、全国市民アクションのホームページのトップページから入り、応募できます。ツイッターに投稿しましょう。「はがき」、「賛同署名」、「FAX要請の取り組み訴え」、「FAX要請の例文」、衆議院内閣委員一覧（議員室、選挙区、FAX番号付）は同ホームページからダウンロードできます。

ツイッターデモへの参加方法のアドバイス（海渡雄一弁護士のコメントから）

コロナ禍で、市民がデモや署名などの動きを取れない中で、市民の意見表明の数少ない手段が「ツイッターデモ」です。

賛同いただける友人のみなさんは、ぜひお誘いあわせの上、多くの方々の参加をお

願います。ひとりでも多くの参加者で、市民の声を政府と国会に示しましょう。このハッシュタグ「 #検察庁法改正案に抗議します 」を張り込んで、あとは自分の意見を述べるだけです。

ハッシュタグは #検察庁法改正案に抗議します と、前にスペースと# 後にスペースを入れる必要があります。

○同法案については、日本弁士連合会（日弁連）が反対する会長声明を公表（4月6日）、全国52の単位弁護士会の3分の2となる35の弁護士会の会長が反対する声明を出しています。

また5月8日には「法の支配の危機を憂う弁護士の会」がオンラインで記者会見を行い、各政党への同法案に反対するよう求める要請書を公表、2週間ほどで同声明書に対し、1500人が賛同していることを報告しています。

民主主義科学者協会法律部会（民科法律）は5月2日、理事会声明「検事長勤務延長閣議決定と検察官に勤務延長制度導入の撤回を求める声明」を出し、反対を表明しています。

コロナ緊急事態宣言を入り口にした改憲許さない

2020年憲法集会

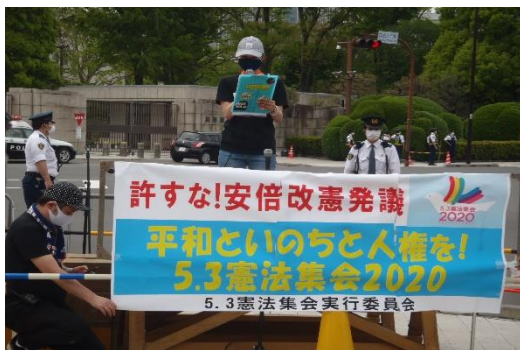
東京ではネットで、全国でスタンディング

国会正門前からインターネットでスピーチなどを発信

日本国憲法は5月3日、施行から74年目を迎えました。

安倍9条改憲NO！全国市民アクション、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会などは、「憲法を生かして命と暮らしを守ろう。コロナ禍の下『緊急事態宣言』に乗じた安倍改憲は許さない」と、各地で宣伝やスタンディング、SNSを使った行動などを取り組みました。

国会正門前では3日午後、「許すな！安倍改憲発議！2020平和といのちと人権を！5・3憲法集会」が、スピーチをインターネットで配信し、「おうちで憲法集会」「うちでデモ」と銘打って受信した人もいるなど、インターネット中継を視聴する形で取り組みました。主催は同集会実行委員会と総がかり行動実行委員会、全国市民アクション。当初予定していた有明防災公園での大規模な集会を変更したものです。



5月3日国会正門前、集会宣言を提起する菱山南帆子さん

集会では、高田健総がかり行動実行委員会共同代表が主催者あいさつを行いました。朝倉むつ子早稲田大学名誉教授、稲正樹国際基督教大学元教授、ジャーナリスト・キャスターの堀潤さんがスピーチ。

立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会民主党からメッセージが寄せられたことが報告されました。福島原発告訴団団長の武藤類子さん、沖縄一坪反戦地主会関東ブロックの青木初子さん、芸人9条の会・落語家の古今亭菊千代さん、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合・法政大学教授の山口二郎さんから寄せられたメッセージが代読されました。小田川義和総がかり行動実行委員会共同代表が行動提起、司会者の総がかり行動実行委員会の菱山南帆子さんから集会宣言が提起されました。

安倍首相が改憲派集会に9条改憲を訴えるメッセージ

安倍首相はこの日、「民間憲法臨調」と「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が行った集会に、17年5月の自身の改憲発言にゆるぎはないこと、自民党改憲4項目の憲法審査会での議論を進めるべきこと、緊急事態条項を憲法に創設・位置付けることの重要性などを内容としたメッセージを寄せ、改憲を呼びかけ、改憲の執念を示しました。

全国各地で多様な憲法記念日の行動 (1)

北海道／南空知、岩見沢、江別、室蘭、札幌などで宣伝行動

北海道南空知地域の**1市4町の会**（夕張市、栗山町、長沼町、南幌町、由仁町の平和団体などで構成）は3日、いっせいに宣伝行動に取り組み、それぞれの9条の会・平和団体の代表や立憲民主党、日本共産党の地方議員らがコロナ禍に乗じた改憲は許せないと訴えました。

札幌市中央区で活動する**STOP安倍政治！中央区実行委員会**などは3日、「憲法を守り生かそう」ののぼりも掲げ、恒例の「アベ政治を許さない」スタンディングを取り組みました。

北海道江別市の**憲法9条を考える実行委員会**は3日、市内繁華街でスタンディングを行いました。毎年憲法記念日に集会・デモを取り組んできたもので、今回が31回目に当たります。参加した25人は、「戦闘機より必要なのは医療用マスク」「憲法に『緊急事態条項』はいらない」の横断幕を掲げ、「コロナ対策のいまこそ憲法を守り生かすことが大切」と訴えました。

室蘭市の**戦争させない西いぶりの会**は3日、スタンディングを行いました。3人がスピーチし、「コロナ以前から保健所を削減してきたのは誰か」「国民生活を守ろうとしない政権は不信任だ」などと訴えました。

岩見沢市の**戦争法廃止をめざす岩見沢の会**は3日、市内の大型ショッピングセンター前でスタンディングに取り組みました。行動には多くの市民が参加し、9条の会、南空知憲法共同センター、治安維持法国賠同盟、共産党市議団の代表らがスピーチしました。

岩手／改憲発議反対署名はがきも配布して宣伝

憲法改悪反対岩手県共同センター、県革新懇、盛岡革新懇は憲法記念日の3日、盛岡市内で宣伝行動を行いました。

「新型コロナウイルス感染症の危機を打開するためにも、憲法を生かした政治に転換を」と訴えました。リレートークで医労連の仲間は、「医療の現場ではマスク、消毒液、人手の不足の対策を緊急に、公立・公的病院の『再編・統合』リストは撤回せよ」、岩商連の仲間は、「収入減の業者への補償を継続的に、消費税は5%に」、いわて労連の仲間は、「新型コロナの不安を利用した改憲の策動はとんでもない」、共産党県議は、「自粛や休業を要請するなら補償せよ、というのは

憲法の要請だ」と強調しました。

群馬／40人の参加で伊勢崎市でスタンディング

伊勢崎佐波憲法共同センターは3日、伊勢崎市内でスタンディング行動を取り組みました。行動には40人が参加、「憲法9条を守ろう」「安倍改憲発議反対」などの横断幕やプラカードを掲げ、「憲法を生かして抜本的なコロナ対策で命と暮らし、医療を守ろう」と呼びかけました。

栃木／宇都宮でスタンディング行動

栃木革新懇は3日、宇都宮市内でスタンディングアピール宣伝を取り組みました。行動には32人が参加しました。恒例の憲法記念日集会がコロナ感染拡大防止から中止となったことを受けて取り組まれたものです。

神奈川／Zoomを活用「おうちで憲法集会」

自由法曹団神奈川支部は3日、インターネットサービス「Zoom」を使って、同団の4人の弁護士、神奈川労連や神奈川県保険医協会の人たちも参加して「おうちで憲法集会」を開催しました。

画面では、弁護士がコロナ問題を口実にして改憲を持ち出している安倍政権を批判、コロナ問題で新自由主義がもたらした弊害が浮き彫りになり、今こそ憲法が規定する福祉国家に向け転換する必要性を訴えました。労働者や医師らはコロナ禍の下でこそ、生存権と労働基本権を守り、社会保障の充実こそが求められていると強調しました。

長野／信州ACが「憲法アピール」 佐久、上伊那でスタンディング

信州市民アクションは5月1日、長野県庁内で記者会見を行い、県内290団体が賛同した「共同アピール」を発表しました。

会見では、「共同アピール」は、緊急事態宣言発令を利用した安倍首相の改憲発言に抗議し、人権や民主主義抑制するあらゆる動きに反対することを表明していること、教育を受ける権利や営業の自由など憲法が保障する権利、憲法の価値・意義を改めて広げることの大事さが強調されました。

「共同アピール」は要請書として安倍首相や政府関係機関に提出されます。

同アクションは県内の40の市民団体に構成し活動しています。

ピースアクション佐久は3日、毎年取り組んでいる集会をコロナ感染防止で取りやめたことに加え、佐久市内の交差点で、「安倍政権は改憲よりもコロナ対策を。憲法を全面実施する政治をめざそう」と訴え、スタンディングをしました。

市民の平和と暮らしを守る「オール上伊那」協働会議は3日、辰野町など上伊那地域8カ所でスタンディングアピールを行いました。行動には、伊那谷市民連合、上伊那市民連合、9条の会、新日本婦人の会、医療生協、民主商工会、農民連、地区労連、日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社会民主党、無所属地方議員らのべ106人が参加しました。

新潟／インターネットで訴え配信

安倍9条改憲NO！全国市民アクション@新潟は3日、インターネット配信による訴えを行いました。

憲法を守る新潟県共同センター共同代表の佐藤一弥さん、新潟県平和運動センターの齋藤悦男議長、新潟県9条の会事務局長の工藤和雄弁護士、社民党の青木学新潟市議、新社会党の小林義昭県本部委員長が訴えました。藤野保史日本共産

党衆院議員、森ゆうこ国民民主党参院議員、中山均緑・にいがた新潟市議のビデオメッセージが同時配信され、西村智奈美立憲民主党衆院議員らのメッセージが紹介されました。

石 川／パネルと訴えで宣伝（金沢・なんぷうアクション）

金沢市の**安倍9条改憲NO！なんぷうアクション**は3日、20人が参加して、地域のスーパー前でスタンディング行動を取り組みました。

「いま必要なことは憲法をかえることではなく、憲法を生かした命と暮らしを守る政治ではないか」などと訴え、掲げた「自粛と補償は一体」「改憲ではなくコロナ対策に全力を」などのパネルが市民の注目を集めました。

富 山／スーパー前のスタンディング市民の注目（小矢部市）

小矢部市で活動する**憲法まもる小矢部の会**は5日、市内のスーパー・ピアゴ前でスタンディングアピール宣伝を行いました。12人が参加して訴えました。

外出自粛の下、いつもより行きかう人が少ない中でも、訴えと「安倍政治ストップ、9条守ろう」「コロナ対策を本気で強化、自粛と補償は一体」などのプラカードは注目を浴びました。

静 岡／掛川で宣伝、9条の会が意見広告、伊東市では三二憲法展

静岡県掛川市の**憲法9条を守る掛川市民アクション**は3日、掛川駅前でスタンディングアピールを行い宣伝しました。コロナ感染拡大防止で予定していた集会を中止し、行動を変更したものです。

行動には30人が参加、「STOP改憲発議」「憲法9条壊すな」などの横断幕やプラカード掲げ、ハンドマイクによるリレートークで訴えました。

静岡県内の九条の会は、朝日新聞と毎日新聞の県内版に1ページ全面意見広告を掲載しました。「いま、憲法を変える必要はありますか？」「『戦争しない日本』であり続けられたのは、9条の存在と日本国民の努力の結果です」などと訴える見出しや文章、賛同者の名前が載せられています。

意見広告の取り組みは今年で10回目となるものです。県内で活動する89の九条の会が参加、4857人が意見広告に賛同・参加しています。

安倍9条改憲NO！伊東市民アクションは4月下旬、伊東市役所ロビーで「身に憲法展」を開催しました。これは、朝日人権訴訟、家永教科書裁判、靖国公式参拝違憲訴訟などの写真や資料を展示、裁判事件を通じて憲法の生きた姿を知ってもらおうという初めての企画です。

愛 知／名古屋市瑞穂区戦争させない会、緑区内9条の会が行動

安保関連法廃止・戦争させない瑞穂区の会は3日、瑞穂区新瑞橋交差点で、「力を合わせてコロナ危機のりこえ、命、くらし守ろう」と大書した横断幕などを掲げてスタンディングアピールを行いました。行動には20人以上の市民が参加しました。

緑区の**徳重・熊の前・神の倉9条の会**は、11人の参加で同区徳重交差点でスタンディング。「軍事費削って命を守れ」などと訴えました。

愛知県では毎年愛知憲法会議が主催して「憲法記念日市民のつどい」が開かれてきましたが、今年は中止され、市内各地で宣伝行動が取り組まれたものです。

岐 阜／大垣駅前でもリレートーク 西濃憲法集会実行委員会

平和・人権・民主主義を考える西濃憲法集会2020実行委員会は3日、大垣

駅前でスタンディング宣伝、リレートークを行いました。行動には30人が参加、中止した集会に代わるものです。

滋賀／東近江市で横断幕やプラカード掲げスタンディング

安保法制の廃止を求める湖東の会は3日、東近江市でスタンディングによる宣伝を行いました。行動には15人が参加、「コロナ対策に思い切った予算を、命を守れ、暮らしを守れ」などとする横断幕や思い思いの手作りのプラカードを掲げ宣伝しました。

京都／憲法九条京都の会 孫崎亨講演動画をホームページで配信

憲法9条京都の会は、5・3の行動として孫崎亨氏（元外務省国際情報局長）の憲法講演「憲法と安全保障」の動画を同会のホームページで配信し普及しています。同ホームページでは、地域での改憲反対の運動やコロナ禍で困難に直面する文化、医療分野での活動を3人がアピールしています。「集会アピール」も紹介されています。日本共産党、社会民主党、新社会党、国民民主党、緑の党からメッセージが寄せられています。

この取り組みは「5・3憲法集会 in 京都」（同集会実行委員会主催）の中止に伴って集会にかわるものとして取り組まれました。

大阪／おおさか総がかり行動実行委員会がYouTubeでアピール行動

5・3憲法集会にかわる「5・3おおさか総がかりアピール」をYouTubeで発信し、視聴を呼びかけました。同アピールでは相澤冬樹大阪日日新聞編集局長、山城博治沖縄平和運動センター議長、中野雅司大阪を知り・考える会代表、老朽原発うごかすな！大集会inおおさか実行委員会の木原壮林代表がリレートークしています。また山下芳生日本共産党副委員長、辻元清美立憲民主党大阪府連代表、吉田治国民民主党大阪府連副代表、福島瑞穂社会民主党党首、山本太郎れいわ新選組代表がビデオメッセージで連帯あいさつを行っています。

同実行委員会は3日、なんば高島屋前（大阪市中央区）で、「輝け憲法！平和と命と人権を！5・3憲法記念日宣伝」を60人の参加で行いました。行動では、「コロナ対策、いまこそ憲法を生かそう」「憲法生かしていのちと平和と人権を」「自粛と補償は一体」「カジノよりコロナ対策を」のステッカーなどでアピールし、「しないさせない戦争協力関西ネットワーク」、「戦争させない1000委員会・大阪」、「森友問題考える会」、「どないする大阪の未来ネット」の代表らがスピーチしました。

兵庫／「憲法アピール」を発信、憲法集会は11月3日

戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会（兵庫県憲法共同センター、戦争をさせない1000人委員会・ひょうご、9条のこころネットワークなどの共同組織）は、「憲法アピール」を発表しました。アピールでは、人々の生活が困難になることには目もくれず、コロナの対策で医療崩壊が懸念されるにもかかわらず、思い切った予算措置を取ろうとしないばかりか、憲法9条に自衛隊を書き込み、戦争を準備し、すでに兵器の爆買いに乗り出している安倍政権を批判、日本国憲法の平和的生存権を改めて確認し、世界に広げるためにたたかい続ける、としています。

同実行委員会は、この日に予定していた憲法集会を11月3日に延期することを決めています。

全国各地で多様な憲法記念日の行動（2）に続く